

忍術膝栗毛

帝キネ時代映畫

原作並脚色者 矢内政治
監督者 江後岳翠
撮影者 三木茂

主要役割

猿飛佐助 實川延松
三好清海 阪東豊昇
真田幸村 中村小福
同大助 久野あかね
松平佐倉姫 南愛子
お美和

解説——「御薬献上」について江後岳翠氏が監督製作した時代劇である。略筋——關ヶ原合戦後、真田幸村は一子大助と共に紀州九度山に閑居して時機を窺つてゐた。その配下十勇士の内猿飛佐助は甲賀流忍びの名人、三好清海は無雙の大力者として知られてゐたが、佐助の忍術應用の靈戲には清海はじめて同塵々弱らせられてゐた。秋の一日大助は佐助と共に釣を樂しんでゐた時、家康の命を受けて幸村親手を暗殺せんとする伊賀流忍びの名手松平佐倉姫が現はれ大助を刺さんとし佐助と秘術を盡して戦つたが失敗に終つた。然しあくまでも目的を遂げやうと一夜股肱の三平を連れ幸村の邸へ忍び込んだが遂に姫は縛されて了つた。幸村はその繩を解いて姫を許してやつたが天下の風雲急なるを知り佐助と大助とも別々に諸國巡歴に旅立たせた。籤に洩れた清海と日頃から佐助を慕つてゐたお美和は佐助に同伴を乞ふたが許されず、仕方なく清海は強いて佐助と共に行かうとお美和の手をさつた。しかしこは如何に、お美和はいつしか藁人形となつてゐたのであつた。